

令和
6年度

コンパス善通寺GROW

事業所における自己評価総括表(公表)

○事業所名	コンパス善通寺 GROW
○保護者評価実施期間	令和6年9月9日～令和6年9月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 62名 (回答者数) 61名
○従業者評価実施期間	令和6年10月25日～令和6年10月25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 11名 (回答者数) 11名
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年10月25日

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	小学校1年生から高校生までの児童が在籍しており、異年齢での交流が可能です。その環境を活かし、社会性やコミュニケーション面で支援が必要な児童に対して、支援(練習)の機会として取り組んでおります。	グループワークの中で、個別療育で育んだ力を実践する機会を大切にしております。療育準備や環境整備においても、職員それぞれの得意分野を活かせるよう役割分担を工夫しております。	地域への外出や買い物などのイベントを積極的に取り入れ、体験を通して児童が自信をつけられるよう支援しております。また、その中で見えてくる新たな課題についても職員間で共有しております。
2	バリアフリー対応や、2単位の事業所における動線について職員間で話し合い、利用者が過ごしやすい、職員も使いやすい環境づくりに努めております。	療育機の配置については、ある程度のスペースを確保し、安心して活動できる環境づくりを行っております。	利用者が活動や目的に応じて安心して行動できるよう、動線や視界の改善に今後も取り組んでまいります。
3	職員間では多職種連携が図られており、支援の質向上に繋げております。	意見交換やアドバイスの機会を多く設けております。	リフレクション(自己振り返り)を定期的を実施し、情報や課題を職員間で共有しております。また、他事業所との意見交換も行い、より良い支援体制の構築を目指しております。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ワンフロアであるため、児童が走り出しやすい場面があります。また、個室(プライベートスペース)など、クールダウンできる空間がありません。	パーティションのみでは簡易的であり、倒れる危険性があります。	目的に応じた空間やスペースづくりのために、必要な備品等を整えてまいります。
2			
3			